

十  
ハ  
ズ  
ナ  
ミ

〒298-0111 千葉県いすみ市万木三番地  
社会福祉法人榎の里 いすみ学園  
電話 〇四七〇(八六)三 四一 一一  
E-mail アドレス ismi3412@utan.ocn.ne.jp

第 101 号



# 『サービス等利用計画書』作成義務化

## が始まって

サービス管理責任者 井上 秀一

いすみ学園は障害者支援施設です。入所施設であり、利用者の暮らしを24時間支えています。

施設でつくる「個別支援計画」は、利用者の暮らし全体を見据えたものになっています。

平成24年4月の障害者自立支援法(現・障害者総合支援法)の一部改正により、「サービス等利用計画」の作成が義務づけられました。これは、障がい者が抱える問題や適切なサービス利用に向けてきめ細かなケアマネージメントを行い、どのようなサービスをどのように利用するかを具体的に示すものです。サービス等利用計画では個々のニーズに基づき様々なサービスを組み合わせることになっています

が、施設入所者は地域で利用できるサービスは限られており、これまでは調査もありませんでした。今回、施設入所者も対象となったことで実際に計画相談に立ち会い、サービス等利用計画の価値を見直す機会を得ました。学園の個別支援計画は利用者や保護者の思いを受け止めながら一番近い場所である支援職員がつくっているものであり、内容には自信を持っています。しかし、サービス等利用計画は日々の支援とは別に、外部の相談支援専門員が利用者の話を聞き、彼らの希望や必要な支援、家族や関係者等本人をとりまく環境などを第三者の目で見つけてくれます。対象者に対して施設入所が本来に適切な支援であるかを見直してもらうことができる、大事な機会だと思

います。

サービス等利用計画作成の単価は低く、指定相談支援事業所は計画作成数をこなさなければ経営が厳しい状況にあります。反面、相談支援専門員1人が請け負えるケース数は限られます。質の良い仕事をするには、時間をかけて利用者ひとりひとりに向き合う必要があるからです。量をこなすために質を落としてしまうことは避けなければなりません。近年、多くの相談支援専門員が養成されていますが、彼らが働く事業所の経営が成り立たなければ育成した意味がありません。自治体には、指定相談支援事業所について安定した経営ができる環境づくりが求められます。

いすみ学園利用者のサービス等利用計画書の作成は、昨年度より勝浦市にある指定相談支援事業所に依頼し、既に15人が調査を受けました。調査では実際に利用者本人をみてもらいます

が、学園としても本人の状態がわかりやすい資料を用意したり、説明を丁寧に行ったりして、相談支援専門員が利用者の姿を捉えやすいように工夫して伝えていきます。生活支援は相手のニーズに合わせて提供されますが、現在だけでなく、これまで歩んできた過程も含めて将来を考えていく必要があるのです。今後は、このサービス等利用計画が利用者にとって適切なものとなり、ワンギも行われます。いすみ学園の計画

相談はグループホーム利用者を含めて50人程度残っていますが、1事業所での対応には限界があり、今後どのようにつなげていくかが課題です。この計画書については、平成27年度末までに提出するように市区町村から求められており、順番に連絡が入ってきます。全員の計画が揃うまでしっかりと対応していきます。

地域で暮らすために必要な支援は、その人の人生に合わせて途切れることなく提供される必要があります。利用者のライフステージに合わせたサービス提供が欠かせませんが、サービス等利用計画の作成が進められることによって、地域に求められているサービスが少しずつ浮き彫りにされてきます。自治体でも改善に向けて対応してくれているところですが、利用者が使いやすいサービスの充実に向けてそれぞれの事業所でも取り組んでいくべきだと考えます。

最後に、いすみ学園では現在、利用者の高齢虚弱化に対応すべく準備を進めています。かつては若く元気いっぱいだった利用者が歳を重ね、身体ケア等の様々な配慮も必要となりつつあります。彼らの暮らしを最後まで支援するという重みを感じながら、これからも利用者に向き合っていきたいと思



# 『健康よもやま話』

その⑤⑩

理事長(埼玉医大名誉教授)

土肥 豊

前回は認知症について、やや一般的な  
なちよつと難しい話をしましたが、今  
回は、もう一度少し具体的なお話をし  
てみましょう。群馬大学大学院の山  
口晴保教授は、その著書の中で、「認  
知症初期症状11質問票」というのをあ  
げています。それは、①同じことを  
何回も話したり、尋ねたりする②出来  
事の後関係がわからなくなった③服  
装など身の回りに無頓着になった④水  
道栓やドアを閉め忘れたり、後かたづ  
けがきちんとできなくなった⑤同時に  
二つの作業を行うと、一つを忘れる⑥  
薬を管理してきちんと内服することが  
できなくなった⑦以前はできばきでき  
た家事や作業に手間取るようになった  
⑧計画を立てられなくなった⑨複雑な  
話を理解できない⑩興味が薄れ、意欲  
が無くなり、趣味生活などを止めてし  
まった⑪前より怒りっぽくなったり、  
疑い深くなった⑫の11項目で、最近1  
ヶ月以内に、このうち3項目以上当て  
はまる項目が生じた場合には、認知症  
の初期症状の可能性が疑われます。ま  
た、更に家族への質問で、①被害妄想  
(お金を取られたなど) ②幻視(ない  
ものが見える) などがあると答えられ

たとすれば、かなり怪しいということ  
になります。これらの項目に共通して  
言えることは、記憶障害(覚えられな  
い、最近あつた事が思い出せない)と  
判断力・思考力の低下が主な症状とい  
うことが言えるでしょう。特に記憶障  
害では、若い頃の古い記憶は、はつき  
りと覚えているのに、ごく最近の過去  
の事が記憶に残らないというのは、一  
度脳細胞の中のある場所に定着した記  
憶は、そのまま脳の中に残っているの  
に対して、新しく記憶を定着させる脳  
細胞の能力が脱落していることが、そ  
の原因といえます。ラジカセに例える  
なら、再生することは出来るけれど、  
録音することが出来ないということであ  
ります。ですから、ついさつき自分で言っ  
たことも、言ったということ自体が記  
憶されていないわけですから、同じ話  
を何度も繰り返すことになります。聞  
かされる方は、またかと思っても、本  
人にとつては、それが何時も新しい出  
来事なわけですから、何も不思議でも  
何でもないことなのです。このような  
方が若しご家族の中におられたら、決  
して叱ったり、否定したりしてはいけ  
ません。症状をかえって悪化させてし  
まう恐れが無いとは言えないからで  
す。ただ聞き流しておけばよいのです。  
そして、折を見て家族健診と一緒に  
きましようという形で、家族共々さり  
げなく専門医に連れて行って相談され  
るのが一番賢い対処の方法でしょう。  
次号は、予防法についてお話しします。

## 第3回 交通安全教室



去る7月11日(土)、GH「さくら  
の家」「たんぼの家」で生活する利  
用者と今回新たに「こすもすの家」の  
利用者2名を加えた計12名を対象とし  
た、第3回目の交通安全教室を実施し  
ました。

毎年全国各地で起こる悲惨な交通事  
故は後を絶ちません。中でも歩行中の  
事故が多く発生していると聞きます。  
今月6月からは改正道路交通法が施行  
されました。

当日はいすみ警察署交通課から2  
名、駐在所から1名が来園して、今回  
も実技指導を中心にした内容で行われ  
ました。日差しがたつぷりの中でした  
が、婦人警察官の説明に少々緊張しな  
がらも、みなさんしっかり耳を傾けて  
いました。模擬交差点上で実際に信号  
機を設置して、正しい横断の仕方を見  
通しの悪い場所からの道路への出方等  
を一人一人が体験しました。

交通ルールやマナーを身に付けるこ  
とは、交通事故防止に繋がります。地  
域で暮らす利用者のみなさんが交通安  
全に対する意識を高める機会として、  
今後とも「交通安全教室」は継続して  
いきたいと考えています。

(支援員 屋代 精一)





7月25日土曜日、いすみ学園交流ホ  
ームにて、「夏祭り」を実施しました。  
今年度は高齢・虚弱化を見据え、時間  
にゆとりを持った内容にすべく、初の  
日中開催となりました。雰囲気は、例  
年と比べ少し寂しさはありましたが、  
皆が余裕を持った祭りとなりました。  
又、今回は利用者の皆さんが中心とな  
って貰える様、「利用者会」という名  
の実行委員会を募り、司会、お神輿  
ポスター制作、写真係等各々に役割を  
持つて貰いました。更に新たな企画と  
して「すいか割り」を各班対抗で行い、  
豪華景品を目指し、負けじとばかりに  
力強く叩いていました。そして美味し  
い食事に恒例の盆踊り、職員有志によ  
るダンス等、利用者の皆さんには、夏  
の日の思い出に刻まれた事と願いま  
す。  
(支援員 片岡 彰則)



去る七月三十一日、夏の行事が無事  
に行われました。事前のアンケートで  
は個々の希望を聞き取り、願いがなる  
べく叶う配慮を行いました。  
今年、四つのグループに分かれ、  
各グループ暑さを忘れて活動に夢中  
になった様子でした。特に、今年初  
試みのミステリーグループでは、自  
らで内容を細かく決めてもらいま  
した。結果、バーベキューを行うこと  
になり、買い物も当日行い、普段あまり  
体験しない事も数多く体験できた様  
です。どのグループも充実感・満足感  
を味わえたことでしょう。  
(支援員 會津 みどり)



# 学園トピックス



1班 班旅行  
八景島シーパラダイス・青梅かんぱ・国営昭和記念公園



夏の行事 Aグループ プール  
ラク・レマンプール、生命の森リゾートにて

## 班旅行



万木工舎 班旅行  
平成27年7月16日・17日と館山と鴨川に旅行に行ってきました。とても楽しかったです。



夏の行事 Bグループ メロン狩り  
千倉の安田農園にて



石鯨班 班旅行  
葛西臨海水族園にて  
いろいろな魚を見て来ました。



夏の行事 Cグループ お風呂  
SPA&リゾート九十九里 太陽の里にて

## 夏の外出



## 山田がかし祭り

平成27年7月25日・26日いすみ市山田がかし祭りがあり、いすみ学園は、バンビーノと言うお笑い芸人のがかしを職員が協力し合い作りしました。結果は見事に、ユニーク賞に選ばれました。  
(支援主任 三上)  
(支援員 金城)



夏の行事(グループ実習班 勝浦・大原)  
8月2日(日)に夏の行事で富津ジャンボプールへ行ってきました。

# 第31回 槇の里祭のご案内

十月十七日土曜日に「第三十一回 槇の里祭」を開催します。今年は「新たな一歩」をテーマに、茶道クラブによる野点、エスティシヤンによるハンドマッサージなど、新しい催し物を用意しています。地元からの協力で国吉中学校のブラスバンド部の演奏、国府台お囃子保存会による演舞なども予定しています。この地に三十年、日々元気に過ごして来られたのも地域の皆様のご理解とご協力の賜物だと感謝しております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。(槇の里祭実行委員 三上 慎一郎)

第31回

# 槇の里祭

10/17(土)  
10:30-14:00  
※雨天は翌日18日(日)  
IN いすみ学園園庭  
駐車場:万木城跡公園駐車場(バス送迎有)

近隣施設

- 遊安バザー
- 地域商店
- 惣出店!!!
- ハンドマッサージ
- 構想店
- 作業製品 展示即売会



(ステージイベント)

- ・国吉中学校吹奏楽部
- ・国府台お囃子保存会
- ・千葉大学ジャグリングチーム
- 「Possum」
- ・赤い羽根共同募金 大抽選会

「新たななる一歩」

たくさん楽しんで、素敵な思い出を作りましょう!

いすみん



〒298-0111 千葉県いすみ市万木22番地  
社会福祉法人 槇の里 いすみ学園  
TEL: 0470-86-3412 FAX: 0470-86-4935

## 《ボランティア同時募集》

「槇の里祭」「休日余暇活動」を一緒に盛り上げてくれる方、福祉に興味・関心のある方を募集しています。

左記連絡先までご連絡ください。  
社会福祉法人 槇の里 いすみ学園

連絡先 〒二九八〇一〇一  
住所 千葉県いすみ市万木二二  
TEL ○四七〇一八六一三四一二  
FAX ○四七〇一八六一四九三三五  
学園祭実行委員 三上・高地  
ボランティア担当 佐久間・松本

## バザー用品大募集

皆様のご協力をお願い致します。

◎新品ならなんでもOK!!

雑貨・シーツ・文具・食品

衣類(クリーニング済み)の物等

注意:食品は、賞味期限内でお願い致します。

致します。

送り先:千葉県いすみ市万木22

いすみ学園

TEL: ○四七〇一八六一三四一二

担当: 鶴岡

## たきの えいじ先生を囲む いすみ歌の祭典

日時:平成27年11月7日(土)

13時30分~15時30分

場所:いすみ学園 体育館

内容:いすみ学園利用者による

歌の発表及び

ゲスト歌手の歌謡ショー

審査委員長:作詞作曲家

たきのえいじ先生

ゲスト歌手:藤森美仔さん

後援:千葉日報社

お問い合わせ:いすみ学園

TEL ○四七〇一八六一三四一二

### 平成26年度 社会福祉法人 槇の里 決算報告

#### 要約貸借対照表

平成27年3月31日 現在

#### 合計要約事業活動収支計算書

自平成26年4月1日～至平成27年3月31日

(一般会計)

(単位:千円)

(単位:千円)

(一般会計)

(単位:千円)

資産の部	
科目	金額
流動資産	370,926
現金預金	320,271
未収金	50,655
固定資産	732,004
基本財産	491,376
建物	383,023
土地	108,353
その他の固定資産	240,628
建物	11,663
構築物	17,013
機械装置	19
車輛運搬具	1,908
器具及び備品	9,651
権利	111
積立預金	171,570
その他	28,693
資産の部合計	1,102,930

負債の部	
科目	金額
流動負債	7,450
未払金	5,040
その他	2,410
固定負債	47,463
借入金	18,800
退職給与引当金	28,663
負債の部合計	54,913
純資産の部	
基本金	257,511
国庫補助金等特別積立金	187,379
その他の積立金	171,570
次期繰越活動収支差額	431,557
次期繰越活動収支差額 (うち当期活動収支差額)	10,243
純資産の部合計	1,048,017
負債及び純資産の部合計	1,102,930

科目		金額
事業活動収支の部	収入	335,407
	補助金収入	47,923
	寄附金収入	9,934
	国庫補助金等積立金取崩	8,287
	その他収入	13,124
事業活動収入計	414,675	
支出	人件費支出	254,966
	事務費支出	62,500
	事業費支出	61,545
	減価償却費	23,193
	引当金繰入	2,365
事業活動支出計	404,569	
事業活動収支差額	10,106	
事業活動外収支の部	収入	381
	利息補助金収入	1,379
	その他収入	1,760
	事業活動外収入計	3,811
	支出	3,811
借入金利息	1,242	
その他支出	1,623	
事業活動外支出計	2,865	
事業活動外収支差額	137	
経常収支差額	10,243	
特別収入計	70,397	
特別支出計	70,397	
特別収支差額	0	
当期活動収支差額	10,243	
繰越収支差額の部	前期繰越活動収支差額	401,314
	当期未繰越活動収支差額	411,557
	基本金取崩額・繰入額	0
	その他の積立金積立・取崩額	20,000
	その他の繰越活動収支差額増加額・減少額	0
次期繰越活動収支差額	431,557	

※数値は、各々で四捨五入しているため、加算・減算の過程で、端数処理の差が生ずる。

### 感謝録

次の皆様方から、たくさんのお寄せを頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

#### (寄附金)

・小森勝

#### (寄附物品)

・谷川陽子・作間公子・榎茂原読売販売興業茂原/茂原南都 平川信裕・江尻恭仁子・皆川会計事務所・田村直美・濱田奈緒美・鈴木光治・岩間和枝・吉原美行・千葉ノミ・文京学院大学・児玉邦子・平なおこ・南石野薬局・太陽の里・(株)西川・(有)田辺印刷・(株)ビーアイエー・(有)松本設備工業・(株)メラマック・(株)創和・(株)米本工務店・(有)源氏商店・いすみ市山田かかし祭り実行委員・(株)新清ハイツ・栗山澄江・中野淳子・関野喜信・なすな薬局

ベルマーク

・北村レイ・北本三千代・相沢雅代

#### ベルマーク御協力の皆様へ

30年間、いすみ学園に沢山のベルマークを御協力して下さいました皆様、ありがとうございました。

この度、都合により「ベルマーク集め」を終了する事になりました。

皆様のためまぬ努力に、学園一同敬意と感謝を申し上げます。

(事務次長 鶴岡 田鶴子)

### よろしく

### お願いします



長田 圭司

本年度7月から働く事になりました長田圭司と言います。福祉関係は

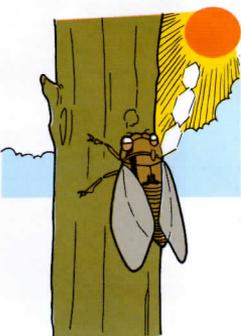
初めてなのでわからない事がたくさんあります。

ですが、一生懸命働き、資格を早くとり保護者様の信頼を得たいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。

### 編集後記

今年の夏は猛暑が続いています。暑さを凌ぐため学園の利用者は、日中マーマタイムを使い、休憩を多くとり、水分を補給しながら無理のない活動を行っています。もう少しで暑い夏も終わります。頑張ってください。

(横田 武志)



題字は村田あけみさんです。